

海老名市立有馬小学校 学校運営協議会 議事録
(令和4年度 第1回)

1 日時 令和4年6月16日(木) 10:00~12:00

2 場所 海老名市立有馬小学校 会議室

3 出席委員 山口 慎二委員(委員長) 古郡 宗正委員、村山 紀行委員、
二見 隆江委員、小松 明委員、渡部 美保委員、奥谷 婦貴子委員
遠藤 一義校長、前田 潤子教頭

4 会議の内容

(1) 学校運営協議委員委嘱、委員自己紹介、委員長選出、委員長挨拶

※山口慎二委員が委員長として選出された。

(2) 授業参観

(3) 学校長挨拶、令和4年度学校教育目標・ランドデザインについて

校長：「チーム有馬」として組織で指導にあたりたい。

二見委員：「チーム有馬」の提言、組織再編で意識化をはかっていただいたことがありがたい。

校長：職員室が担当以外の児童についての話題も出る場所であってほしい。

古郡委員：風通しのよい学校にしていきたい。

(4) 令和4年度学校運営協議会実施計画について

校長：今年度の実施計画をご確認ください。また、コロナ禍で地域とのつながりが途切れたが、地域人材について情報をいただきたい。

(5) 諮問内容「登下校の安全確保に向けた地域との協働」

渡部委員：新1年生の下校見守りについて、民生委員の力をさらに発揮できるように、計画を整えていきたい。

奥谷委員：地区ごとの立哨終了日が揃っていない。担当者が少ない地域は、早々に立哨が終わってしまう。

山口委員：青健連に依頼する方法も考えられる。

二見委員：地域の方がゴミを出す時間、買い物に出かける時間を児童の下校時刻に合わせるといふ策はどうか。児童の下校時刻は、低速で車を走行する等、通年の申し合わせ事項を作ってはどうか。

村山委員：杉久保の自治会長から有馬小学区の自治会とつながりをもちたいという申し出がある。また、毎年、PTAが出している危険区域を地域で共有してはどうか。

渡部委員：回覧板に常に危険区域を貼り付けておき、地域に意識付けしてはどうか。

古郡委員：地域の子は地域で守り、地域で育てていこう。

校長：皆様のお力添えをよろしく申し上げます。